| 学校番号 | 1012 |
|---|---|

# 令和8年度 国際教養科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 国際教養科 | ワールドウォッチング | 2 | 3 | なし |

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

海外のドキュメンタリー番組等を主な教材にして、環境・戦争と平和・異文化理解・国際協力などの幅の広いテーマについて学習する。ビデオの内容について補足説明した後、生徒それぞれの意見や感想を発表しあう。また、ワークショップ形式の授業を行い「気づき」が得られるような内容の授業を行う。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

日本社会との差異に気づかせ、その認識に基づいて国際的な視野を養うことが目標である。また、学んだことを小学校の総合学習の多文化共生の授業で、小学生に教えるという Speaking Out といわれる「出前授業」を行う。

a. 映像やメディアを通して、世界のあらゆる課題について知り、いくつか例を挙げることができる

b. 世界のあらゆる課題について、自分の言葉で意見を言うことができる

c. この授業で学んだことを、小学校での出前授業で、子どもたちにわかりやすい言葉で伝えようとする

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

| 観点 | a 知識・技能 | b 思考・判断・表現 | c 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 多くの国のドキュメンタリーを見たり、新聞記事などを読んで、福祉、教育、貧困、環境、ジェンダーの観点から、諸外国の実情や課題を理解している。 | ドキュメンタリーを見たり、新聞記事を読んで知ったことをもとに、自分の経験を織り交ぜながら、意見を書いたり、クラスメイトと共有することができる。 | 授業で学習したことを、小学校での出前授業において、表現などを工夫しながら、子どもたちに分かりやすく伝えられるように内容を深めることができる。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4 学習の活動（導入；リスニング、マインドフルネス、今月の歌　メイン；読み物、フォニックス、やりとり、語彙クイズなど）

| 学期 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| I | 1)授業開き<br>2)17 つの国際目標<br>3)ジェンダー<br>4)SOGIE<br>5)リサーチ<br>（おもちゃ屋、広告、教科書） | a. 世界にどんな問題があるのかを理解する。また、世界の問題をジェンダーの視点を持って批判的に見ていく姿勢を身につける。<br>b. 世界の問題やジェンダー不平等について、その原因、現状、対策について考察し、自分の言葉で表現する。 | 発問評価<br>授業の取組<br>レポート | 授業プリント<br>振り返り（記述式）<br>レポート | 発問評価<br>授業の取組<br>レポート<br>発表 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | c. レポートや発表などで自分の意見を、自分の言葉で積極的に他者に伝えようとする。 | | | |
| 2 | 6) 世界の CM<br><br>7) 女性の権利<br><br>8)「世界がもし100人の村だったら」ワークショップ<br><br>9)子ども兵<br><br>10)「出前授業」の準備<br>・子どもの権利条約 | a. CM/広告が発するメッセージや、刷り込んでいる偏見について気づく。「100 人村」のワークショップを通して、マイノリティの立場になって考える視点を持つ。また、子ども兵について、実態や社会復帰のための支援について知る。<br><br>b. 日本と諸外国の差異に気づき、自分のいるコミュニティから変化を起こすために何ができるのかを考え、自分の言葉で表現する。<br><br>c. レポートや発表などで自分の意見を、積極的に他者に伝えようとする。また、「出前授業」の準備にあたって、自分の役割を果たしながら他者と協力して小学生にわかりやすい発表ができるように努力する。 | 発問評価<br><br>授業の取組<br><br>振り返り（記述式） | 授業プリント<br><br>振り返り（記述式）<br><br>発表台本 | 発問評価<br><br>グループワーク<br><br>発表台本<br><br>発表準備の取り組み<br><br>発表リハーサル |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 11)「出前授業」<br><br>12)平和 | a. 出前授業のテーマである、児童労働・ストリートチルドレン・地雷・子ども兵、世界の水とごみ問題について理解する。また、平和を願う活動家たちの思いを知る。<br><br>b. 問題の背景にあるものを、小学生に分かるように自分の言葉で説明する。また、平和な世界を実現するために、自分にできることは何かを相手に伝える。<br><br>c. レポートや発表などで自分の意見を、自分の言葉で積極的に他者に伝えようとする。 | 発問評価<br><br>授業の取組<br><br>振り返り（記述式） | 授業プリント<br><br>振り返り（記述式）<br><br>発表台本 | 発問評価<br><br>グループワーク<br><br>発表台本<br><br>出前授業 |

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度